

二葉町自主防災会からの5つの提案事項

1) 巨大地震・津波・長期浸水対策用「高強度発泡樹脂軽量浮体構造物」について

発泡樹脂製造総合メーカーJSPに協力を要請。5月16日・17日と現地調査を実施。構造物は震度7に耐え、一定条件下の津波や地盤沈下による浸水にも耐えられること。罹災後は一定期間の避難生活が可能。住民が避難した後は災害復旧の拠点にもなる。20M×40M「高強度発泡樹脂軽量浮体構造物」(図面)では、トイレ。防災倉庫。水道設備など附帯設備込みで7500万程度。工期も2ヶ月程度。大きさは自由。ヘリポート作成可能。大小設計・施工可能。

2) LPガス非常用ユニット

災害時に既存のガス配管が破損していても、LPガス災害対応ユニットを設置しておれば。簡単なコック操作で罹災後すぐに炊き出しが可能。LPガス協会・ツバメガスが提案。新・下知図書館屋上部に設置が確定した。100万円程度。

3) 一時疎開用移動式組み立て式テント・ゲルについて

モンゴル民族は家族単位の移動用にゲルを活用しています。平らな乾いた土地さえあれば、家族単位で、町内単位での生活は可能。20組が単位(1組25万程度)。700万円で20組分がモンゴルから輸入可能。組み建て指導料込み。

4) 水陸両用自動車開発・プロジェクトについて

高知市出身のFI用レーシングカー設計者高村卓志(ドイツ在住)の提案事項。普段は水陸両用観光バスで活用。災害時には、罹災者救命艇になる。大量生産製品ではないので高知県でも製造可能である。高知が元気になり、災害対策にもなる水陸両用バスはユニークである。通常観光バスが3000万円。水陸両用バスは1億円程度。

5) 仁淀川町との災害時一時避難協定の締結

昨年1年間二葉町自主防災会仁淀町役場。住民とで交流を実施。本年度は仁淀川町に一時的疎開施設の借用を依頼。高知市役所に関与いただきたい。(2012・6・19)